

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年七月度 入選句 (投稿総数二千九十句・小中生投句数千五百六十三句)

特選

選者 西田 拓郎

豆ごはん口のまわりにごはんつぶ 大垣市 中村 壮(小五)

豆ごはんは決して高級料理ではないのですが、それぞれの家庭の味がしてみんな大好きです。口のまわりについたごはんつぶを描写することによって、壮さんがおいしい豆ごはんを元気にもりもり食べたことがよくわかります。豆ごはんを作った人もとてもうれしそうにしている様子まで見えてきそうです。幸せいっぱい食卓の様子ですね。家庭の味を大切にしてくださいね。

夏の朝 ラジオ体操 ちこくなし 大垣市 平野 由香里(小六)

ラジオ体操は朝六時半に始まります。毎朝きちんと参加して夏休みの生活を充実させようとする由香里さんの姿勢がよく伝わってきます。規則正しい生活づくりの基本は朝にあります。夏休みの学習、運動、お手伝いはどれも成果を上げることでしょう。俳句を作ると、自分自身の生活をよく見つめることができます。俳句を作ることによって自分自身の生き方を磨き続けてください。

おとうととすいかわりしてありがとう 大垣市 山下 侑姫(小二)

天気の良い夏の海岸の白砂の上で仲良し家族が西瓜割りをしています。弟が見事に西瓜を割りました。拍手のあと、弟の目隠しを解き家族みんなで西瓜を食べます。ぎざぎざに割れたところや粉々になったところから甘くておいしい汁もこぼれます。みんな笑顔です。蟻さんも集まって来ました。夏の海での生活は誰しも楽しいのですが、侑姫さんのようにどこかどこか楽しいのかを見つけてリズムカルな言葉で取り出すとさらに楽しくなりますね。

秀逸

手のひらはてんとうむしの飛行場 愛知県犬山市 小山 恭佳(中三)

浴衣着て光のほうへ歩み寄る 愛知県一宮市 服部 聖奈(中三)

すぐそばにいつも友達五月晴れ 大垣市 浅野 銀伶(小六)

七夕に外を見るのをわすれてた 大垣市 松山 猛虎(小四)

ひやけしてパンダのなかまになりました 大垣市 高橋 歩花(小四)

汗ぬぐい宿題全部終わったよ 大垣市 伊藤 花菜(小六)

先生は笑顔がすてき山わらう 大垣市 鎌田 莉菜子(小六)

剣道はいつも汗だく熱帯夜 大垣市 中川 愛斗(小六)

日焼けしてハワイの人と同じみたい 大垣市 中村 壮(小五)

おこずかいふやしてほしい夏祭り 大垣市 城田 桃花(小五)

入選

雷鳴に逃げ足速き子供たち 愛知県一宮市田中 友菜(中三)
 浴衣を着髪をあげたら別人だ 岐阜市 舘 映 見(中三)
 しまつてた麦わら帽子今かぶる 大垣市 佐藤 生真(小六)
 ツバメの巣子どもにえさをあげたいな 大垣市 池戸 歩夢(小六)
 なつのひはのどがかわいてしようがない 大垣市 小川 空(小四)
 せんぷうき宿題ぜんぶとばしてね 大垣市 山本 達也(小四)
 夏やすみどこにいこうかまよっちゃう 大垣市 佐とう 虹希(小三)
 うちのお茶むぎ茶にかわった夏が来た 大垣市 川瀬 朱莉(小三)
 夏休みとう計グラフやろうかな 大垣市 北浦 拓真(小三)
 給食で豆を見つめる梅雨ぐもり 大垣市 木塚 悠太(小六)
 太陽をおおっておくれ雲の峰 大垣市 佐久間 友梨(小六)

入選

暑いから家族みんなはなれてる 大垣市 中村 いろは(小六)
 熱帯夜父のいびきでおこされた 大垣市 山田 玲亜(小六)
 夏の朝兄のねおきはかたつむり 大垣市 葛山 陽那乃(小六)
 うぐいすはいつも静かな森の中 大垣市 多賀 祐人(小六)
 えんてんかどこまで続くのかえりみち 大垣市 後藤 竜ノ介(小六)
 こもるより走りぬけよう夏の雲 大垣市 森 大 晃(小六)
 教室にクーラーほしい夏の雲 大垣市 白井 祐遥(小六)
 大好きなアイドル出てきた夏祭り 大垣市 長谷川 紅梅(小六)
 南風わたしのクラスもあたたかい 大垣市 川添 千聖(小六)
 水まんじゅうなかのあんこがぼくをよぶ 大垣市 川合 凌矢(小五)
 日焼けどめつかいすぎてるからっぼだ 大垣市 杉江 たける(小五)

選者吟

つばめ来て野外学習はじまれり

拓 郎